

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	スノーケリング実習 A	
科目基礎情報							
開設学科	スポーツ健康学科		コース名	スポーツビジネスコース		開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	30時間
単位数	1単位		授業形態	実習			
教科書/教材	必要に応じてレジュメ・資料を配布します						
担当教員情報							
担当教員	平川大輔			実務経験の有無・職種	有・ダイビングインストラクター		
学習目的							
スノーケリングは、主に3点セット（水中マスク・シュノーケル・フィン）を身に付け、水面での浮力を利用しながら水面上を漂うように移動し、水面上や時には水中において海などを観察することを目的としたものです。このスノーケリングを安全に楽しく行なうための指導ができる知識と技術の取得を目的とします。							
到達目標							
日本スノーケリング連盟認定スノーケリングインストラクター取得を目指します。 スノーケリングインストラクターを取得することにより、各地域にて行われているスノーケリング講習会において指導者として活躍できる機会を得ること、また幅広い世代において行われているスノーケリングの指導を通してコミュニケーション能力の向上を目標とします。							
教育方法等							
授業概要	・ プールでの実技が主体となります ・ 口述なども行うため、社会人として必要なスキルを包括的に学びます						
注意点	・ 講習を全て受講しなければ受験することができません ・ 講習中は指導員の指示に従い、身勝手な行動は絶対に取らないようにして下さい ・ 身勝手な行動等を起こし他人に迷惑をかけるような者は単位取得を認めません						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	%					
	レポート	%					
	成果発表 （口頭・実技）	50%	講習時間内に行われる発表方法、内容について評価します				
平常点	%						
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	オリエンテーション			スノーケリングインストラクターについての注意事項、実習行程を理解します			
2回	水泳実技①			スノーケリングインストラクターとして基礎的な泳力を習得します			
3回	水泳実技②			スノーケリングインストラクターとしてより高いレベルの泳力を習得します			
4回	泳力測定			泳力レベルを理解します			
5回	救急法①			心肺蘇生を習得します			
6回	救急法②			AEDについて理解します			
7回	水辺の環境			水辺のリスクについて理解します			
8回	安全管理			環境のみならず、指導する上でのリスクについて学び、対処法等を理解します			
9回	口述法①			与えられたお題に対して、人の前で口述する技術を習得します			
10回	口述法②			与えられたお題に対して、人の前で口述する技術が向上します			
11回	クラスコントロール①			スノーケリングの指導方法を理解します			
12回	クラスコントロール②			スノーケリングの指導方法を習得します			
13回	レスキュー①			人命救助について理解します			
14回	レスキュー②			プール等で溺れている人の救助方法を習得します			
15回	まとめ			上記の全てを理解し、実践することができます			